

平成21年第1回糸魚川市議会臨時会会議録 第1号

平成21年2月9日(月曜日)

議事日程第1号

平成21年2月9日(月曜日)

午後1時00分 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第1号
- 日程第4 議案第2号
- 日程第5 議案第3号

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第1号
- 日程第4 議案第2号
- 日程第5 議案第3号

+

応招議員 29名

出席議員 28名

1番	甲村聰君	2番	保坂悟君
3番	笠原幸江君	4番	渡辺重雄君
5番	中村実君	8番	田原実君
9番	五十嵐哲夫君	10番	五十嵐健一郎君
11番	保坂良一君	12番	高澤公君
13番	倉又稔君	14番	久保田長門君
15番	大滝豊君	16番	斉藤伸一君
17番	伊藤文博君	18番	伊井澤一郎君
19番	鈴木勢子君	20番	猪又好郎君
21番	古畑浩一君	22番	山田悟君
23番	池亀宇太郎君	24番	大矢弘君

25番 松尾徹郎君
 27番 野本信行君
 29番 新保峰孝君

26番 畑野久一君
 28番 関原一郎君
 30番 松田昇君

欠席議員 1名
 7番 平野久樹君

説明のため出席した者の職氏名

市 長	米田 徹君	副 市 長	栗林 雅博君
収 入 役	倉又 孝好君	総務企画部長	本間 政一君
市民生活部長	小林 清吾君	総務課長事務取扱	渡辺 和夫君
総務課長補佐	田原 秀夫君	建設産業部長	織田 義夫君
能生事務所長	池亀 郁雄君	総務企画部次長	七沢 正明君
市民課長	金平 美鈴君	企画財政課長	小掠 裕樹君
市民生活部次長	小林 忠君	青海事務所長	田鹿 茂樹君
健康増進課長	早水 隆君	福祉事務所長	山崎 利行君
農林水産課長	岡田 正雄君	商工観光課長	建設産業部次長
+	新幹線推進課長	建設課長	建設課長
	岡田 正雄君	ガス水道局長	細井 建治君
	消 防 長	教 育 長	小松 敏彦君
	吉岡 隆行君	教育委員会学校教育課長	渡辺 千一君
	教育委員会教育次長		
	山岸 洋一君	教育委員会文化振興課長	
	教育総務課長	歴史民俗資料館長兼務	山崎 弘易君
	教育委員会生涯学習課長	長者ヶ原考古館長兼務	
	中央公民館長兼務		
	渡辺 辰夫君		
	市民図書館長兼務		
	勤労青少年ホーム館長兼務		
	監査委員事務局長		
	結城 一也君		

事務局出席職員

局 長 神喰 重信君
 主任主査 松木 靖君

副 参 事 猪又 功君

午後1時00分 開議

議長（五十嵐健一郎君）
 ご苦労さまです。

これより平成21年第1回糸魚川市議会臨時会を開会いたします。
欠席通告議員は、平野久樹議員であります。
定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

議長（五十嵐健一郎君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員には、3番、笠原幸江議員、21番、古畑浩一議員を指名いたします。

日程第2．会期の決定

議長（五十嵐健一郎君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。
会期については、去る2月2日に議会運営委員会が開かれておりますので、その経過と結果について委員長の報告を求めます。

高澤 公 議会運営委員長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

高澤委員長。〔12番 高澤 公君登壇〕

12番（高澤 公君）

皆さん、ご苦労さまです。

議会運営委員長報告を行います。

去る2月2日に議会運営委員会が開催されておりますので、その経過と結果についてご報告いたします。

本日招集されました平成21年第1回市議会臨時会に提出されます議案は、お手元配付の議案書のとおりであります。条例の一部改正が1件、平成20年度補正予算2件の計3件であります。

協議の結果、これら3件の議案につきましては、本日、委員会付託を省略し、即決でご審議いただきたいことで、委員会の意見の一致をみております。

また、会期及び日程につきましては、会期は本日2月9日、1日間とすることで、委員会の意見の一致をみております。

日程については、お手元配付の日程表をごらんください。

以上で、議会運営委員会の委員長報告を終わります。

議長（五十嵐健一郎君）

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。

ご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

おはかりいたします。

本臨時会の会期は、本日、1日間とし、委員長報告のとおり進めたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日、1日間と決定いたしました。

日程第3．議案第1号

議長（五十嵐健一郎君）

日程第3、議案第1号、糸魚川市基金条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

提案理由の説明とあわせ、当面する課題について市長から発言を求められておりますので、この際これを許します。

米田市長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

平成21年第1回市議会臨時会の招集に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆様方におかれましては、大変ご多用のところご参集いただき、厚くお礼を申し上げます。

本臨時会におきましては、条例の制定、補正予算の議案など3件のご審議を願いたいものであります。

議案の内容につきましては、後ほどご説明をさせていただきますが、この機会に当面いたしております主要事項2点につきまして、ご報告申し上げます。

1点目に、糸魚川市緊急生活支援、雇用・経済対策の概要について、ご報告申し上げます。

ご承知のように、アメリカ発の世界同時不況は、実体経済にも大きな影響を与えております。当市におきましても中期財政見通しを作成し、実施計画の見直しを行ったところでありますが、その後、さらに予想を超える速さで国内景気の減速が進んでおります。

当市におきましても、企業経営や雇用に大きな影響が出ておりますことから、本日の市議会臨時会では、国の第2次補正予算を受け、緊急生活支援、雇用・経済対策として、所要の予算を計上いたしているものであります。

具体的な対策といたしまして、次の4点を取り組むことといたしております。

1つ目は、緊急雇用・経済対策であります。

緊急雇用促進対策の補助金を新たに創設をし、離職者の再雇用の促進を図るとともに、企業の資金対策として信用保証料補給金を全額補助することといたしております。

2つ目は、定額給付金、子育て応援特別手当であります。

国の関連法案成立後、早期に支給できるよう、事務的に準備を進めたいと考えております。なお、所得制限は設けないことといたしております。

3つ目は、地域活性化・生活対策臨時交付金事業であります。

交付金の総額は、4億109万7,000円であり、これを有効に活用し、地域経済に寄与するとともに、計画事業の前倒しや耐震診断、また新型インフルエンザ対策など、市民の安全・安心に配慮した事業に取り組み、早期の発注を目指したいと考えております。

4つ目は、緊急雇用創出、ふるさと雇用再生特別交付金事業であります。

緊急雇用創出事業は市が直接雇用する形で、新年度40名の臨時職員の雇用を図りたいと考えております。また、ふるさと雇用再生特別交付金事業は、市の委託事業として実施し、委託事業者は、1年以上の新規雇用6名を予定いたしております。

詳細につきましては、本日配付いたしました参考資料のとおりであります。今後とも経済社会状況の変化に応じて、迅速かつ適切に対処してまいりたいと考えております。

2点目に、国における平成20年度第2次補正予算に伴う公共事業の内示状況について、ご報告申し上げます。

お手元にご配付いたしました行政報告参考資料をごらんください。

まず、市営事業につきましては、3件で概算2億7,900万円、県営事業につきましては、8件で概算15億4,600万円、そのうち港湾整備事業が9億7,300万円となっております。国の直轄事業は、8件で概算38億7,900万円であり、そのうち新幹線整備は26億円の内示となっております。

なお、詳細につきましては資料のとおりであります。補助事業の採択状況により事業費が変更となる場合もありますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

以上、当面する主要事項につきましてご報告を申し上げましたが、議会並びに議員の皆様方から、特段のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、招集のごあいさつとさせていただきます。

引き続きまして、提案いたしております議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第1号は、基金条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、国の緊急雇用・経済対策に伴い、地域活性化・生活対策基金を設置するため、所要の改正を行いたいものであります。

詳細につきましては、この後、所管の部・課長から説明をいたします。

以上であります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

織田企画財政課長。〔総務企画部次長企画財政課長 織田義夫君登壇〕

総務企画部次長企画財政課長（織田義夫君）

議案第1号の基金条例の一部改正につきまして、ご説明を申し上げます。

今回、基金条例の改正につきましては、先ほど市長が提案理由で申し上げましたとおり、国の緊急雇用・経済対策に伴いまして、地域活性化・生活対策基金を設置したいというものであります。

第2条第1項第14号に、地域活性化・生活対策基金を挿入させてもらいたいということであり

ます。

なお、16号の国民健康保険給付準備基金につきましては、現在の14号にあったものを、16号にそっくりと移動させてもらいたいというものであります。

説明につきましては、以上であります。

議長（五十嵐健一郎君）

ただいまの説明に対する質疑に入ります。

ご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

おはかりいたします。

本案については会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思いません。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入りますが、ただいまのところ討論の通告はありませんので、討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

これより議案第1号、糸魚川市基金条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

日程第4．議案第2号

議長（五十嵐健一郎君）

日程第4、議案第2号、平成20年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

米田市長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

ご説明申し上げます。

議案第2号は、平成20年度一般会計補正予算(第4号)でありまして、歳入歳出それぞれ12億6,883万円を追加し、総額を287億734万8,000円といたしております。

行政報告でも申し上げました、糸魚川市緊急生活支援、雇用・経済対策を打ち出したいものであります。

歳出につきましては、雇用・経済対策では、事業所が離職市民を3カ月以上雇用した際の雇用及び住宅補助を行い、信用保証料の補助金枠を、現行の50%から100%に拡大をいたします。

また、定額給付金の給付とともに、子育て応援特別手当事業では、小学校就学前3年間に属する子で第2子以降である児童に、1人当たり3万6,000円を特別給付いたします。

地域活性化・生活対策臨時交付金事業につきましては、本日配付いたしました参考資料のとおりであります。基金積立金としても1億2,000万円を計上し、新年度事業に充当することといたしております。

次に、歳入につきましては、国庫支出金、交付金をはじめ所定の特定財源を充当し、所要の一般財源は、地方交付税から充当いたしました。

また、繰越明許費及び債務負担行為の補正は、それぞれ第2表、第3表のとおりであります。

詳細につきましては、この後、所管の部・課長から説明をいたします。

以上であります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

織田企画財政課長。〔総務企画部次長企画財政課長 織田義夫君登壇〕

総務企画部次長企画財政課長(織田義夫君)

それでは議案第2号、一般会計補正予算(第4号)についてご説明申し上げます。

事前に配付しました議案参考資料、A3のものでありますけれども、ごらん願いたいと思います。議案参考資料であります。なお、本日配付しました行政報告参考資料の糸魚川市「緊急生活支援、雇用・経済対策」の概要につきましても、一緒にごらん願いたいと思います。

それでは、議案参考資料の方で説明をさせていただきます。

まず、最初に、緊急雇用・経済対策でございます。行政報告参考資料の1番の事業でありまして、そのうち平成20年度対応分であります。

1番目の雇用促進事業につきましては、離職した市民を3カ月以上雇用した事業主に対する補助金でございます。雇用1人20万円、限度額100万円でございます。住居につきましても、賃貸住宅等の初期費用の2分の1、限度額20万円を助成をするというものでございます。

2番目の中小企業支援事業につきましては、信用保証料補給金を、現行の50%から100%に拡大をするというものでございます。合計しまして1,300万円となります。

なお、年度内でどれだけの応募が来るかわかりませんので、交付金については充当しないで、一般財源で対応したいというものでございます。

2番目の定額給付金、子育て応援特別手当事業の概要ですけれども、行政報告参考資料の2に該当するものでございます。

1番の定額給付金はごらんのとおりでして、合計対象者は4万9,589人、給付総額が7億8,282万円となっております。なお、定額給付金につきましては、国会の方で現在審議中ですけ

ども、関連法案が成立し次第、できるだけ早急に給付をしたいということで考えてございますけども、現在のところ、4月早々ぐらいになるのではないかと考えております。対象者には郵送で通知をし、それぞれ給付につきましては、口座振替等で給付することで予定をしているというものであります。

2番目の子育て応援特別手当事業につきましては、対象児童数590人ということで、2,124万円を予定しております。この対象者につきましては、一応個別に案内をするというものでございます。給付金等につきましては、合計で8億406万円でございます。

なお、給付金の全額と事務費の一部につきまして、繰越明許をさせてもらいたいというものでございます。

続きまして、地域活性化・生活対策臨時交付金事業の概要になります。行政報告参考資料の3に該当する事業でございます。

1番目の基金積立金になります。基金条例のとおり基金を設置しまして、総事業の約30%となります1億2,000万円を一応基金に積み立てまして、新年度で事業を充当したいというものであります。

2番目のふれあいセンター施設整備事業ですけども、まがたまにつきましては駐車場が非常に不足しているという状況から、まがたまの西側の厚生連用地を買い取りまして、駐車場を整備したいというものであります。

3番目の子育て支援センター整備事業につきましては、青海地域の子育て支援センターを開設したいということで、現在の青海総合福祉会館ふれあいで、整備をしたいというものであります。

4番目の保育園整備事業ですけども、西海保育園の屋根防水工事になります。先般、雨漏りが発生をしましたので、急遽対応したいというものであります。

5番目の保健センター整備事業ですけども、糸魚川保健センターの耐震診断をしたいというものでございます。

6番目の農村活性化施設整備事業になります。耐震診断ということで、集会施設等の耐震診断になります。烏帽子の里ほか5地区ですけども、5地区につきましては、生活改善センターとしまして、湯川内、釜沢、山口、小滝の4地区であります。そのほかに、市野々会館も予定をしているというものであります。

7番目の農地等補完保全整備事業から、8、9、10番目の県単農業農村整備までですけども、これらにつきましては、県がこの交付金を使って一応事業を採択しましたので、対応して市の方も実施するというものでございます。

11番の観光施設整備事業、海の資料館（越山丸）でございますけども、塗装を含む船体の改修工事を実施したいというものであります。

12番、13番の道路修繕事業につきましては、ごらんの4カ所で実施をし、14番、15番の道路新設改良事業につきましては、ごらんの5カ所で予定をしているというものであります。

16番の河川排水路改修事業ですけども、梶屋敷地内で国道8号バイパス関連で、旧姥川の環境整備を行いたいというものであります。

17番、多目的集会施設修繕事業ですけども、美山多目的集会施設、旧パークイン美山になりますけども、屋根の塗装を実施したいというものであります。

18番、住宅耐震診断事業になります。道路公団から払い下げを受けました奴奈川住宅について、耐震診断をしたいというものであります。

19番、20番につきましては、常備消防の方で老朽化した防火衣、それから消防用ホース等について買いかえをしたいというものであります。

21番、消防水利整備事業については、横町で耐震性貯水槽を1基設置するというものでしたし、22番の消防団施設整備事業につきましては、22年度で予定をしてました東中の消防団格納庫につきまして、今回の交付金を利用しまして、前倒して実施するというものであります。

23番の新型インフルエンザ対策事業ですけれども、感染防止、それからマスク等を整備をしたいというものであります。なお、ここには市役所の備蓄分も含んでおります。

24番、青海中学校整備事業ですけれども、駐車場の整備と特別教室のエアコンを設置したいというものであります。

25番、図書館施設整備事業ですけれども、糸魚川図書館の耐震診断であります。

26番、博物館整備事業になります。フォッサマグナミュージアムの分析走査電子顕微鏡ですけれども、昨年から故障してまして、今回買いかえをしたいというものですし、駐車場の舗装についても修繕をしたいというものであります。

そういったことで、今回、交付金事業ですけれども、4億3,634万円となります。そのうち基金を除きまして、全額3億1,634万円、繰越明許をしたいというものでございます。

一番下の方で新年度予算での基金充当予定事業になります。基金を新年度で充当したいということになります。

1番目の雇用促進事業と、3番目の中小企業支援事業につきましては、行政報告の参考資料1番の事業で、新年度分の対応分でございます。

以下、事業についてはごらんのとおりですけれども、予算化につきましては、新年度予算で行うということになりますので、説明の方は割愛をさせていただきたいと思っております。

なお、今回この地域活性化・生活対策臨時交付金事業、それぞれ補正事業を編成をさせていただきましたけれども、編成の手法としましては、必要な事業でありますけれども特定財源がつかないということで、一般財源が多いということで、財政負担が多いことから一応見送りさせてもらった事業を優先的に、今回は採択をさせてもらったというものでございます。

一番右側の下の方になりますけれども、今回の補正額ですけれども、それぞれA・B・Cということで、合計しますと12億6,883万円になります。なお、このうち(B)定額給付金関係と、(C)臨時交付金関係ですけれども、国会で審議中の関連法案の成立を前提としております。したがって、関連法案が万が一、成立しない場合は、予算の執行を凍結することもございますので、その点、何分ご了承承りたいと思っております。

次に、予算書本体の6ページをごらん願います。第3表の債務負担であります。

健康づくりセンターにつきましては、平成21年度に基本実施設計と工事着工を予定しておりますが、できるだけ早く着工したいということで、年度内に基本実施設計に着手したいというものであります。

漁港海岸保全施設整備事業につきましては、大和川漁港のものであります。また、漁港整備事業につきましては、親不知漁港でして、いずれも国の第2次補正予算で内示を受けましたので、債務

負担行為を設定するものであります。

説明につきましては、以上であります。

議長（五十嵐健一郎君）

ただいまの説明に対する質疑に入ります。

ご質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

古畑議員。

21番（古畑浩一君）

それでは、ただいまご説明いただきました点につきまして、質問をさせていただきたいと思っております。

まず1点目なのですが、まさに未曾有の大不況ということで、県内でも小千谷や妙高、この近隣のところでも大手工場等が操業停止、または廃止になるという深刻な状態になっております。その中で糸魚川市でも、こうした緊急経済対策が図られ、そしてまた本日提出されたということにつきましては、まさに的を射た時期だと思っておりますし、推進を願うものであります。まず1点、一番根本となる、では、我が市の経済状況は一体どうなっておるのか。また、雇用状況は一体どうなっておるのか。ここの部分につきまして簡単で結構なんです。現状につきまして、まずはご説明をいただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

田鹿商工観光課長。〔商工観光課長 田鹿茂樹君登壇〕

商工観光課長（田鹿茂樹君）

お答え申し上げます。

求人倍率の方から言いますと、10月末では1.22、これはパートも含めてということでご理解をいただきたいんですが、11月末では1.0、12月末では0.86というふうに求人倍率が下降しております。県の平均は0.76、0.73とかという数字でございますので、糸魚川市としては県の平均は上回ってはおりますが、求人倍率が下降しているということは、管内の景気状況は非常に厳しいというふうに判断をしております。

さらに担当職員が市内の全事業所は回れませんが、幾つかの事業所を回った中では、電子、車関係での製造関係企業は非常に厳しい状況であり、9月以前の約半分、さらにはその4割、3割というふうな受注しかもっていないというのが現状でございます。非常に厳しいという情報を我々は得ておりますし、認識しております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

古畑議員。

21番（古畑浩一君）

もう少し歳入の減少ですとか、そういった部分まで含めて、非常に経済的な危機というものが、

私はあるのではないかなと思っております。実感的には、じりじりと真綿で首を絞められるように、不況風が広がっているのではないかというところがあります。

今ほど言われました電子部品、それから自動車関係だけではなくて、ほかにもかなり厳しい実情というのが耳の中にも入ってきております。もう少し、これだけの緊急対策をやるんだと、12億円かけてやるんだという部分につきましては、行政当局として経済的な状況悪化の把握、私はもう少し丁寧にしていただきたかったというふうにちょっと感じております。担当課でも、しっかりつかんでいることだろうと思うんですが。

そこで質問をさせていただきますが、総額で約12億6,000万円という今回の経済対策なんですが、しかし、緊急雇用・経済対策については1,300万円しか盛られておりませんよね。そこで、例えば最初の雇用促進事業も1事業者20万円、100万円を限度で支給するというやり方、これによってどれだけの雇用確保、並びに企業実態に合った補助対策になっていくのか。

それから、新年度事業予算の方にまで、ある程度、人数的なものは確保できる見込みでもありますが、これが予想を上回った場合はどうなのかということ。事業効果と、予想する人員が上回った場合にどうするのか、これが1点目。

それから、2点目の中小企業支援事業であります。もう経済の破綻ということがかんがみますと、バブル時期の破綻いたしました大混乱の時期があります。あのときは金融不安ということで、金融関係にもう何十兆円も公的資金を導入して金融業界は救ったものの、貸し渋り、貸しはがしという、非常に人道的にもそれでいいのかと言われるような事例がたくさんありまして、中小、零細、個人といった企業、商店が、ばたばたと倒産していきました。

今回やっぱり懸念されるのは、行政として信用保証料金等の満額を払うといっても、実際に審査の窓口立つのは、銀行や金融機関であります。ここが融資の決定をしなければ、その後、幾ら糸魚川市が資金援助をしようとしても、また、利子補給をしようとしても、要するに行き渡らない状態になります。こういったことから考えて、2点目は、こうした金融対策、金融の窓口における貸し渋りや、そして貸しはがしの対策については、どのようにお考えなのか。

以上2点を、まずお聞かせいただきたい。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

田鹿商工観光課長。〔商工観光課長 田鹿茂樹君登壇〕

商工観光課長（田鹿茂樹君）

お答え申し上げます。

まず、1点目の緊急雇用促進対策補助金の関係で平成20年度分、1事業所5人を限度で、1人20万円ということで、約30人分をみております。ただ、我々もこれは予測をしている判断でございますが、これがどの程度来るのかというのが、情報としてはちょっとわかっておりません。今のところ、平成21年3月31日まででございますので、30人分ぐらいは見込んでおくのが必要かなというふうに考えて、予算計上させていただいたものでございます。さらに新年度、平成21年度も、この関係につきましては実施する予定でございますが、新年度予算に盛っておりますが、約200人分程度を、この補助金の支出を考えております。さらに予想を上回った場合ということでございますが、これは我々としては、何らかの補正対応をしてみたいというふうに考え

ておるところでございます。

それから、金融関係の貸し渋り、貸しはがしの問題でございますが、我々としては金融機関に、とにかくそういうことのないようお願いをしていくということと、今回の信用保証料、確かに議員がおっしゃられるように、保証料だけ市が面倒を見ても、なかなか会社の状況とか、金融機関が貸してくれなければ、うまくいかないじゃないかということでございますが、当然のことながら金融機関には、そのようなことのないようお願いをしてまいりたいというふうに考えております。

以上で、2点目のご質問にまでお答えを申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

古畑議員。

21番（古畑浩一君）

じゃあこれが最後ということになります。3点目、ちょっと質問になります。今度はその下の定額給付金、これも大分さまざまな打ち合わせの中で出ておりますが、これも一つ地域経済の活性化に結びつかないかということで、以前に発行した地域振興券のような扱ひも、できないかというふうな要望があるというふうにも聞かせていただいております。担当課、行政においても、この辺につきましても考慮すべきということのお話も聞いてるわけなんです。じゃあ具体的にやるのか、やらないのかと。また、これをやるとしても急がないと間に合いませんよね。また、あれは特殊なコピー防止のためのさまざまな工夫がされておりますよね。するとそれらの印刷費というのは、どこへ今度もってくるのか。アイデアはいいけど期日的な面と、またそうした経費の面で、これやるとなると、ちょっと難しいんじゃないかというふうな気もするんです。こうした意味で、まず地域振興券の要望等についてどうお考えか、これ1点目。

それから2点目、これまた田鹿課長さんとかへ行くと思うんですが、先ほど有効求人倍率のお話をされましたが、現状の失業率の推移、これをどのように考えられるのかなんです。

やっぱり派遣切りも、かなりの問題になっておりましたが、今後、いよいよ正規職員も含めて、かなりの失業が見込まれるという状態になってきましたよね。今、生産調整で、週休3日とか4日とかやって対応されてるそうなんです。これが今のまんまでアメリカのビック3、日本も自動車業界や家電メーカー、日本の経済を牽引していただきましたトップメーカーが、いずれも生産調整や、やっぱり減収報告をやって、かなり大胆なリストラを今後考えていくと。

そうなっていった場合に、この失業率、やっぱり怖いのは失業率ですよ。働いてさえいてくれれば、何とか保障の機会もありますが、失業率がふえた場合は大変だ。じゃあこの糸魚川市が今やろうとしている雇用促進事業が、この失業者に対する歯どめにならなきゃだめなわけですね。そこから辺も兼ね合わせて、見込みをお考えいただきたい。そして各営業者に対しては、その辺をご理解いただいて、雇用継続になるのかどうなのか。これは制度をつくっても、使ってもらわな意味ないわけですから、その辺もやっぱり雇用主の皆さんと十分話し合っ、見込みはあるのかどうなのか、これがやっぱり一番大事な部分ではないかなというふうに思っております。

以上の点、お聞かせをいただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

1点目の地域振興券等のものの考えはないかということですが、一応考えております。そんなことから、平成11年ですか、地域振興券をお配りして地域の活性化を図ったわけですが、それと同様なものはできないかということで今考えておまして、細部については、今後、商工会議所、商工会と詰めたい考えでありますが、できれば、この定額給付金が出たときに、あわせて実施したいという考えでおります。費用負担、あるいは事務費等の負担をどうするかということも、あわせて関係者と協議をしていきたいと思っております。ただ、これは行政だけではなかなか難しいと思っております。商工会、商工会議所の会員の方からもご協力していただきたいということを、先般お話をさせていただきましたので、それに向けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

田鹿商工観光課長。〔商工観光課長 田鹿茂樹君登壇〕

商工観光課長（田鹿茂樹君）

お答えを申し上げます。

失業対策ということでございますが、市のちょっと失業率が出ておりませんが、国の失業率は12月末現在で4.1%というふうになっております。ハローワーク管内で今職を求めている方、ハローワーク系魚川の管内でございますが729人、パートも含めて今職を探しているという状況でございます。職もあるんですが、やはりミスマッチ、自分の希望する働き場所がないというようなこともございまして、12月末現在では729の方が職を探していると。当然、これは10月、11月よりも、数字は徐々に上がってきているところでございます。

我々としては12月24日に、市内の商工会議所、能生商工会、青海商工会の会長、会頭に、雇用の安定をお願いをして、要望書を提出させていただきました。幾つかの企業は、過去にもいろいろなりストラをやったというような企業もございまして、現在では、とにかく雇用を守ることでの考えを、重点にしているという企業もございまして。ただ、仕事がなくなってきておりますので、なかなか今の現状がそのまま素直に、この4月以降も続くかどうかというのは、我々も見込みが立っておりませんが、当然、受注がないということになれば、求人倍率は、まだ下がっていくのではないかと心配をしております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

畑野議員。

26番（畑野久一君）

3回ですね。最初の質問は、企画財政課長から最初と最後にもお話あったんですが、非常に素朴な質問なんですが、地方自治体の財政の組み方として、国で法律的にすべて条件が整わない時点で、整うことを前提にして、しかも今回、8億円近いという定額給付金ですよ、組むということは、これあり方として妥当なのかどうかという1つの素朴な考えがある。

それはよく新聞やテレビで、何か2兆円の財源をひねり出す特例法案が、国会で何か3月の上・中旬ぐらいに通るだろうと。そこから始まるんだというような論調になっとるのを多々見るのが1つと。それから最近の大町市あたりは、この準備のための人事を発令したとか、妙高もそんなお話。あるいは、また他で臨時会等を招集しとる中では、どちらかという定額給付金そのものを組み込むんじゃなくて、それを支給するための準備費、あるいは、本日いただいた資料の中にあります地域活性化・生活対策臨時交付事業4億円ですか、これを中心にした補正予算を臨時議会でご提案した、あるいは、する準備をしておるといようなのがよく報道されておるんです。

定額給付金そのものを含んだ補正予算というのは、恐らく例えば県下20市の中では、まだないんじゃないかなと思うんですが、それだけに法律がいずれ通るであろうということを前提にしたこういう予算の、しかも大きいですからね、組むそのものが地方自治体の財政のあり方として全く問題ないのかどうか。私自身は個人的には、国の2次補正で通ったんだから、早く通ったものは市民にという気持ちは全く同じなんですが、万が一脱法行為というか、おかしいことをやったんでは非常にまずいんで、それをまず第1にお聞かせいただきたい。

2つですね、全く法律的に問題がないものという確証はどこから出とるのか、それから2つ目は、例えば県下、あるいは近隣の中で、うちがきょう例えば議決したとすれば、それ以前にどれくらいケースがあるのか、それを教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

この問題につきまして、地方自治の全体の考え方につきましては畑野議員がおっしゃるのは、ごもっともなところが多いんだろうと思っています。ただ、この定額給付金につきましては、非常に国会の中でも混乱してる中で、当市が早く補正予算なり準備をしたわけですが、これにつきましては1月28日、総務事務次官通知で、それぞれ準備にかかってくださいという通知が来ておりまして、それらにもとづいてより早く準備に入って、より早く給付をしたいということで、仕事に入らせてもらったものであります。先ほど企画財政課長が話しましたように、関連法令が通るまでは執行しないということで、お話をさせてもらってきておりますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

それから県内の状況ですが、先般、県の方でいろんなことをまとめておりますが、当市のように臨時会を開くところも何件かありまして、およそ2月中に臨時会等、議会を開いて決めたいというのが、13市が2月中にやっていきたいという方向が示されているのが、状況だというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

畑野議員。

26番（畑野久一君）

後半の部分はわかったんですが、前半の1月28日の総務省から着た通知の中身は、そのための先ほど私が申し上げましたように、大町市や妙高市のように、事務作業をやるための人事発令をす

るとか、あるいは、事務手続のための予算を手当てするとかと、それもあるし、うちのように約8億円近い、そのものも当初予算に補正として入れると。そっちも含んでおるのが、総務省の通達の内容だということでもいいわけですね。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

この件につきましては国の第2次補正で、もう一般会計では予算が決まっておることに基づきまして、総務省なりがそれらの準備にかかりなさいということから来ましたことから、それに沿ったものでありますので、自治法上では大丈夫だというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

畑野議員。

26番（畑野久一君）

自治法上問題なければ、私は後は申し上げません。早くやるのはいいんですが、早くやってオーバーランというか、ミステイクやったなんていうのは、もう糸魚川市の数十年の歴史に、汚点を残すことになりますから、まさか皆さんがそういうことを、議会に提案しとるわけじゃないと思いますので、くれぐれもそういうことのないように、私の懸念だと。

中身について、これで3回ですね。1つは、参考資料のA3ですかね、これでやらせてください、わかりやすいから。地域活性化・生活対策臨時交付金事業の2番、これは旧糸魚川病院があそこにあった西側に、先生とか病院の職員の社宅というんですかね、その跡地だと思いますが、それはそれでいいんですが、私も何とか早く周辺で確保してもらいたいということがあったんですが、この機会がいいんですが、この6,000万円のうち用地取得費と整備費の比率がどれくらいなのか。それをやると逆算して、単価が幾らで買ったんかということが出てきますわね。それから何台ぐらい駐車場として、普通車であれば予定しとるのか、極めて簡単な質問です。

2つ目、23番目、私、12月議会の中で、新型インフルエンザに対しては庁内体制を早く充実していただきたいということを申し上げて、そっちの方は、まだいずれかの機会で聞くんですが、今回1,000万円計上して一步前進だと思っています。ただ、これは備考にありますように市役所分備蓄も含むって、要は、新年度の予算でもある程度考えとるということになるわけですね。とりあえず、市としては感染防止衣上下、これを何着ぐらい、マスクは何個ぐらいを備蓄したいと。そのうち今回の1,000万円で、着る方とマスクはどの程度予定しとるんかと、その中身を教えてくださいませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

織田企画財政課長。〔総務企画部次長企画財政課長 織田義夫君登壇〕

総務企画部次長企画財政課長（織田義夫君）

お答えを申し上げます。

2番目のふれあいセンターの施設整備の関係でございます。今のところ用地費につきましては、

大体4,000万円くらい予定をしております、整備費の方が2,000万円くらいということでもあります。

なお、台数につきまして、現在精査をしておりますので、台数についてはまだはっきりしないということで願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

吉岡消防長。〔消防長 吉岡隆行君登壇〕

消防長（吉岡隆行君）

私の方から、新型インフルエンザ対策の1,000万円の内容についてお答え申し上げます。

ご案内のように庁内の対策本部を成立いたしまして、事務局を務めることになりました。

この内容でございますが、対策としましては、まず行動計画が今策定中でございますので、全体像はまだ把握しておりません。まず市民の救助・救出に当たる消防職員や、あるいは行政職員の、いわゆる感染症等薬剤等を中心にして、今回、1,000万円を計上させていただきました。

内容的には、感染作業に当たる主に職員でございますが、職員用の感染防止防火衣というものを消防、行政合わせまして4,350着。それから手袋、これは使い捨てでございますが、これは枚数換算になりますが1万6,500枚。それから新型インフルエンザに、今、一番有効に効かると言われている、N95マスクという機密性の高いマスクでございますが、これについては4,500枚。それから、ゴーグルが160個。それから、患者さん並びに職員にも使い捨てできる、サージカルマスクを3万5,000枚。それから、アルコール用消毒器材等、それから、一番あの洗浄用の資機材等、それから、感染物の廃棄物処理する箱等々を計画いたしております、総額で今1,000万円でございます。

このほか、このたびまた国の方からも連絡がありまして、総務省、消防庁の方から、いわゆる救急患者を搬送するための職員用のいわゆる防火衣、あるいは手袋等、マスク等の資機材も、順次、配布されるという通知もいただいております。

なお、畑野議員ご質問のとおり、全体でどのくらいが必要であって、そのうち今回どれだけのかというご質問でございますが、今回のものにつきましては、今申し上げました。ただ、今、県と連携する中で新潟県、あるいは糸魚川市においた場合に、新型インフルエンザが発症した場合に、一体どの程度の規模になるのかというところを、今、行動計画の中で策定中でございますし、さらに、また各医療機関だけではなく、運輸、行政、あらゆる機関等々のそれぞれ平常業務を持っておられる方々が、その職員も感染したときに、その本来持つ業務をどれだけ継続できるかという、業務継続計画をつくるように指示されており、今、当市におきましても、その作業に入るところでございますので、それらの計画ができ上がった段階の中において、おのずと今ご質問にありました必要数量というものが出てくるものであろうと、こう考えておるものでございますから、現時点におきましては、では、当市はどれだけ要するのかということについては、まだ把握できてないというのが現状でございます。

以上です。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにありませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

鈴木議員。

19番（鈴木勢子君）

まず、参考資料の定額給付金、子育て応援特別手当事業の概要であります。まず、この定額給付金については、市長は先ほど早期に、事務的にと報告されました。事業を速やかに、敏速に、効果的に進めるために、他市では定額給付金室ですね、専門の担当を置くということも多くなっております。当市の場合、また、別紙の参考資料の緊急雇用の方の資料では、40名の臨時職員を雇用する予定の中に、情報化とか確定申告、環境パトロール云々の中に、この定額給付金を担当する者が雇用対象となっていないわけですが、非常に郵送するに当たっても、また、それだけで済まないその後の振り込み等もあって、大変な作業になるかと思うんですが、そのあたり事務的にも早期に進めると言われましたけど、具体的に、担当は総務課だと思いますが、現状の職務、年度末にきている中で、支障がないのかということ、まず、お尋ねいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

定額給付金につきましては、現在事務を進めているわけですが、今議員お話がありましたように、総務課が担当するというので決定をしております。それで総務課だけでは実際できないわけでありまして、福祉事務所、あるいは電算関係の企画財政課等、関係する係から数名が集まっていたいて仕事をするとということで、当面、301でしたか、会議室をもう確保してありまして、そこに事務室を早期に設定をするという考えであります。

それから臨時職員については、きょうお配りの中ではないんですが、補正予算の中では3名の方を2カ月雇い入れていき、事務を進めたいという考えで計画をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

鈴木議員。

19番（鈴木勢子君）

次に、地域活性化の交付金事業の方の3ですね、子育て支援センター整備事業と、これは青海地域の総合福祉会館のふれあいを整備と。参考資料の事業概要では、子育て支援センター開設となってきますね。そうしますと今、国の方で300万円、一般財源で50万円ということで350万円の事業費。現行の糸魚川市域にあります東部子育て、それから横町の子育て支援センター、これと同等の内容の子育て支援センターとなって、開設できるのかどうかという点をお尋ねいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

ご質問にお答えをいたします。

確かに開設という言葉を使って、実際は改修という工事費でございますが、設置からいきますと糸魚川地域に2つあるものに加えて、3つ目を新たに開設をするということでございまして、役割、機能等も、既存の子育て支援センターと同等の機能を果たすという位置づけで取り組んでおります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

鈴木議員。

19番（鈴木勢子君）

そうすると糸魚川にある2カ所と同等のということですから、350万円で同等になるというふうにお考えのようですが、面積も含めて現在のふれあいの中で、どのように具体的に整備されていますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

ふれあいの中にあります、部屋の表示からいくと子育て支援センターとなっておりますが、実際は親子室ということで貸し館的な位置づけになっておりますが、あの部屋を事務室が出入りできるような形で広げるということと、もう1つは、スペース的には向かい側に広い部屋がございまして、あそこも随時利用しながら、必要な活動をしていきたいというふうを考えております。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにございませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

松田議員。

30番（松田 昇君）

お願いします。

定額給付金について、今ほど論議をされてるわけですが、ばらまきに批判が集中してるわけですが、この定額給付金がやっぱり地元でどう使われて、地域活性化につなげていくかということの取り組みを、私は最大限やってほしいなというように思っております。

先ほど口座振込という話しも出たんですが、市民の皆さんに対して地元で使ってもらうように、どのような方策をしていくのか、その辺をお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

まず、国の方でもこの事務の簡素化ということを言われてきておりまして、そんなことから当市では、口座振替の方法をとろうということの方針を決めたわけでありまして、ただ、やはりこの金は、そのまんま口座に残っておっては困るわけですので、やはりいろんな面で広報を通じたり、いろんな機会があるごとに、この地域で還元してもらおうということが、原則だというふうに思っ

すので、PRをしなきゃならんと思っておりますし、先ほど古畑議員から出ましたように、地域振興券等もあわせながら、やはり地元で少なくとも多くの金を早く使っていただいて、景気活性化の一助になればというふうに思っていますので、その方向でいろんなことに努めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

松田議員。

30番（松田 昇君）

今ほど部長の方からお話ありましたし、先ほど古畑議員からも話があったわけですが、この地域振興券を商工会議所とか商工会とかで、具体的にこれから詰めていってお話でございました。今、具体的には、担当課としてはどのようにお考えかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

本間総務企画部長。〔総務企画部長総務課長事務取扱 本間政一君登壇〕

総務企画部長総務課長事務取扱（本間政一君）

先週でしたか、商工会議所の方に行きまして、商工会議所の会員の方が60～70名集まられたわけですが、市のいろんな行政課題の説明をさせていただきました。その中で会員の中から、多分、商工関係者の方だと思いますが、この定額給付金について、やはり地元で使ってもらわなきゃ意味がないんだというような発言もされておりましたし、ちょうど行政の方で考えております、前にやりました地域振興券というものを今考えているので、ぜひ会議所と一体となって、この給付金を活用したいんだということを話をさせていただきました。今週中に市の考え方を決めて、商工会あるいは商工会議所の方に投げかけをしていきたい考えであります、やはり商工会議所、商工会の方からも協力をいただかなければできないと思っておりますので、今の段階では、商工会議所に市の考え方を持って行きますので、一緒に相談に乗ってくださいというようなところまでいってるといふふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

松田議員。

30番（松田 昇君）

終わります。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにありませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

新保議員。

29番（新保峰孝君）

6ページの健康づくりセンター整備事業の関係で、先ほど平成21年度工事着工というふうなことを言われたと思うんですが、これまでの間に議会に対する説明という点で、不十分だったんでな

いかというふうな気もするんですが、その辺いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小林健康増進課長。〔市民生活部次長健康増進課長 小林 忠君登壇〕

市民生活部次長健康増進課長（小林 忠君）

健康づくりセンターの計画につきましては、さきの全協のときにもお話をさせていただいておったというふうに思っております。そんなことで、今回いろいろな経緯については、その都度、お話をしてきたというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

新保議員。

29番（新保峰孝君）

前回の全協ということもありますけども、全協は全協で正規の委員会なり、そういうところで、もう少し突っ込んだ形での説明というの、必要だったんでないかなというふうに私は考えます。

終わります。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにございませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

保坂良一議員。

11番（保坂良一君）

A3資料の方で、まず21番の消防水利整備事業の中の横町地内の耐震性貯水槽の60立方の設置ということでございますが、普通の委員会でございますと、どここの場所で、どこだというふうな地図もついてわかるんですけども、どの場所につけられるのか。それで、その次には、消火栓があるのかどうかということ。

次にもう1つは、24番の青海中学校ですか、駐車場整備、特別教室のエアコン設置。特にエアコン設置でございますが、これはどういうことでエアコン設置の段階になったのか、特別教室には、ほとんどエアコンがついているのではないかなと思うんですけども、また特別な事情があるのかどうか、お聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

吉岡消防長。〔消防長 吉岡隆行君登壇〕

消防長（吉岡隆行君）

お答えいたします。

1点目の防火水槽でございますが、横町地内につきましては前後いたしますが、消防水利の基準からいたしまして、消火栓の整備がされておるものでございますから、当該地域については完備いたしております。ただ、ご案内ように消火栓だけでございますと、地震時におきましたところで破綻するおそれもあるものでございますから、年次計画で、耐震性の防火水槽というものを計画して

いるところございまして、横町地内の方におきましては、耐震性の防火水槽がないようなことから今計画しております。

現時点では場所につきましては、ただいま地権者の皆様方と、交渉させていただきとるところでございますので、まだ具体のところまで、きょうこの場ではお示しいたすところまで話が進んでおりませんが、我々が今考えておりますのは、横町にあります中央保育園周辺のところで、公有地であるところを考えておりますが、場合によっては、逆に先般火災がございました4丁目地内の方も、防火水槽が欠けてるものがございますから、そちらの方に移動する場合がありますが、いずれにいたしましても、横町地域のところで消火栓は完備されておりますが、防火水槽が不足してるものがございますから、補完する意味合いの中で、このたびの交付金を用いた中で安全に努めていきたいと、かように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

山岸教育総務課長。〔教育委員会教育次長教育総務課長 山岸洋一君登壇〕
教育委員会教育次長教育総務課長（山岸洋一君）

お答えいたします。

青海中学校の特別教室棟ということではありますが、まず図書室であります、場所は。それでこの図書室、中学校の今実態を申し上げますと、5カ校あるうち2カ校についてはエアコンの設置がございまして。残り3カ校については、まだこれからというようなことなものですから、非常に音楽室は中からの音が外へ漏れる。図書室は逆に窓を開けておいた場合、外の音が中へ入って読書に差し支えると、そんなようなことがあるものですから、その実態、実態によって、必要のあるところから整備をさせていただいているというものであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。

11番（保坂良一君）

2教室はついておると、あと5つあるうち2カ所ついてると、青海教室に追加して図書室につけると。あと、じゃあどこについてないんですか、あとの学校はどこがついてないんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

山岸教育総務課長。〔教育委員会教育次長教育総務課長 山岸洋一君登壇〕
教育委員会教育次長教育総務課長（山岸洋一君）

失礼をいたしました。具体性を欠く答弁になりました。

磯部中学校が図書室にございます、それから糸魚川中学校には、図書室にエアコンがございまして。残り3つについては、未整備ということでありまして。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

保坂議員。

11番（保坂良一君）

最後になりますけども、防火水槽についてもどこでも早く設置してくれという希望がありますので、21年度予算でお願いしておきたいと思えますし。また学校の図書室は、やっぱり図書室ですから、これはやはりあそこはついておって、ここはつかんというのは、なかなか学校の教育の不公平さが、あらわれているんじゃないかと思えますので、できるだけ早くつけていただくようお願いして、やめます。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにございませんか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

伊藤議員。

17番（伊藤文博君）

お願いします。

6ページの健康づくりセンター整備事業、それから地域活性化・生活対策の方の3番、子育て支援センター整備事業、関連して質問いたします。

まず、当初、健康づくりセンターに子育て支援センターを併設するということがあったわけですが、これは須沢が、子育て支援のモデル地区であることとも関連があったと思うんですね。それで地元では、その事業を推進されているわけですが、地元への説明も事前になされないまま、この方針が先に決まったということも聞いてはおります。そのことはいいとして、場所が変わることについて、そのモデル地区で推進している事業との影響がないのかどうか。それと、そのことについて地元の理解は、どのように得られているかについてお願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

お答えをいたします。

健康づくりセンターに併設といいますか、整備することになっておりました、いわゆる子育て支援センター機能を持ったスペース。これにつきましては、既に全員協議会等でご説明してありますとおり、先送りということでございまして、その間、青海地域に1カ所も開設がなかった子育て支援センター機能を、なるべく早く機能させたいということから、今回ふれあいの中に場所を設けまして、開設をするということでございまして、計画そのものとしては先送りの状態になっておるといことであります。

また、青海地域に1カ所の子育て支援センターといった場合に、確かに須沢地域の皆さん方にはお話をしてきた経過がありますが、ふれあいという場所で若干ずれますけども、青海地域の中で広くお使いいただくには、地理的に決して偏った場所ではないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小林健康増進課長。〔市民生活部次長健康増進課長 小林 忠君登壇〕

市民生活部次長健康増進課長（小林 忠君）

子育て支援センターの先送りにつきましては、地元の方々にも直接お集まりをいただきまして、

ご説明をさせていただきましたし、地元と申しまして須沢地区の方々ということになりますが、それとそれ以外に、また別途に須沢の方々の代表の方々にも、先送りさせていただくという点については、ご説明をさせていただいたというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

伊藤議員。

17番（伊藤文博君）

それが先送りになって、今回、田海の方で整備するわけですね。そのことについて、地元の理解はどうでしたかと聞いたんですが、次で答えてください。

今度は健康づくりセンターの基本実施設計ですが、これは実際に今、一度整備された設計があるわけです。今回計画が変わって、設計をもう一度やり直すということなんですが、これは全く新しく設計するのか。それとも設計の見直しという形で、今プールが先送り、それから子育て支援センターが先送りの中で、配置の見直しというようなことの中で、処理される程度でいくのかということ、それがどうなのか。それから、それに絡めて設計事業者の決定について、もとの設計の見直しであれば、その関連ということも出てくるでしょうし、全く新しい設計であればまた考え方も変わるだろうということで、その辺についてお願いします。さっきの答えの足りないところとあわせて、お願いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

健康づくりセンターの中に設置をする子育て支援センター機能の部分につきましては、市としての説明という意味合いで、先送りの説明はさせていただいたというふうに思っております。

ただ当面、その機能を早く設置をしたいということから、ふれあいの中に改修によって開設するという点については、特に須沢の皆さん方に説明ということではしていなかったということ、さきの須沢の子供の対応の会合の中で、ご指摘もいただいたところではありますが、若干情報の出し方が不足しておったという点については、ちょっと反省をいたしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小林健康増進課長。〔市民生活部次長健康増進課長 小林 忠君登壇〕

市民生活部次長健康増進課長（小林 忠君）

健康づくりセンターの設計の関係でございますけれども、以前につくられていた実施設計につきましては、これからやっていくものとは形も大幅に違ふと。現有の福祉センターの基本機能を生かしながら、グレードアップをしていきたいということで、形、それから内容も変わってまいりますので、新しく設計をさせていただくというふうに考えております。

設計の業者でございますけれども、これから入札担当の方と詰めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

伊藤議員。

17番（伊藤文博君）

福祉事務所長、答えがやっぱり足りないんですよ。その須沢地区の子育て支援のモデル地区として推進事業をやっている関係と、今、当面先送りになって田海につくることについて、そういう事業の関連性の中で推進している方々との理解を、どう得ているかということを知っているんで、そこを答えてもらわないと。説明したとか、せんとかという話は、その前段の話ですよ。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

子育て支援機能が須沢の地域に整備をされるということについて、大変期待があったということについては十分理解をしておりますし、そのことについて先送りになったということ、なおかつ、ふれあいの方でそれを開設をするということについて説明が不足しておったと。そのことについて、ご理解をいただく云々ということについては、それも説明とあわせでございますが、お伺いをする機会をちょっと逸したという点については、反省をいたしております。

17番（伊藤文博君）

事業との関連性で、理解を得ているのかということを知りたいんですよ。

+

議長（五十嵐健一郎君）

暫時休憩します。

+

午後2時18分 休憩

午後2時19分 開議

議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

小掠福祉事務所長。〔福祉事務所長 小掠裕樹君登壇〕

福祉事務所長（小掠裕樹君）

失礼をいたしました。

須沢地区でお取り組みをいただいておりますモデル事業との関連ということになりますと、今回の支援センターの設置については、特に大きな関係はないというふうに考えております。

議長（五十嵐健一郎君）

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

おはかりいたします。

本案については会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思いません。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。

新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

新保議員。〔29番 新保峰孝君登壇〕

29番（新保峰孝君）

議案第2号、平成20年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）についてありますが、国の緊急雇用・経済対策に伴うものであります。

私はこの中の定額給付金については消費税とセットであること、暮らしや福祉の充実、雇用対策などのためにこそ使うべきであり、国の景気対策としては、ふさわしくないものと考えます。けれども法案が通り、予算が可決されれば、国民、市民には受け取る権利が生まれるわけであり、その点と、ばらまきではあります、国民、市民に対する負担増ではないということを考え合わせ、一部健康づくりセンター関連もありますが、それらは別にして、本案に賛成するものであります。

以上であります。

議長（五十嵐健一郎君）

以上で、通告による討論は終わりました。

ほかに討論の通告はありません。

討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

これより議案第2号、平成20年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）を採決いたします。

本案は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長（五十嵐健一郎君）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

日程第5．議案第3号

議長（五十嵐健一郎君）

日程第5、議案第3号、平成20年度糸魚川市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

米田市長。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長(米田 徹君)

ご説明申し上げます。

議案第3号は、平成20年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)でありまして、管渠更正事業を債務負担行為するものであります。

詳細につきましては、この後、所管の部・課長から説明をいたします。

以上であります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

織田企画財政課長。〔総務企画部次長企画財政課長 織田義夫君登壇〕

総務企画部次長企画財政課長(織田義夫君)

議案第3号の公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)につきまして、説明を申し上げます。

第1表、債務負担の行為になります。平成21年度も青海地区の老朽化した管渠の更正工事を予定しておりますが、国の第2次補正予算で債務負担の内示がありましたので、第1表のとおり債務負担行為を設定するものであります。

説明につきましては、以上であります。

議長(五十嵐健一郎君)

ただいまの説明に対する質疑に入ります。

ご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

おはかりいたします。

本案については会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思いません。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

ご異議なしと認めます。

よって、本案については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入りますが、ただいまのところ討論の通告はありませんので、討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

これより議案第3号、平成20年度糸魚川市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)を採決いたします。

本案は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶものあり〕

議長(五十嵐健一郎君)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

これをもちまして、平成21年第1回糸魚川市議会臨時会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時24分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

+

議 員

議 員